

郡山市ネクスト100 未来戦略会議 第5回資料

令和6年11月30日（土）14時～16時

未来戦略会議の全体像や目標について

- 未来戦略会議は本日含め全6回を予定しています。
- まちの将来のありたい姿や将来都市像に向けた取組について各グループで話し合い、**最終回では発表会を開催**します。

実施日	各回テーマと概要
第1回 令和6年10月12日（土） 14時～16時	第1回：キックオフミーティング <ul style="list-style-type: none"> ・ 郡山市の人口 実施済を確認 ・ データを踏まえ、市の魅力・課題について議論
第2回 令和6年10月20日（日） 14時～16時	第2回：ありたい姿を表現するキーワードを考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回検討結果 実施済 ・ 前回検討内容 実施済 ・ ありたい将来を表現するキーワードを分野ごとに議論
第3回 令和6年11月10日（日） 14時～16時	第3回：ありたい姿を表現するキャッチコピーを考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回検討結果 実施済 ・ 前回検討した 実施済 将来を表現するキャッチコピーについて議論
第4回 令和6年11月17日（日） 13時～15時	第4回：将来都市像が実現した暮らしの話をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回検討結果 実施済 ・ キャッチコピー 実施済 で表現した将来都市像が実現したまちで展開される暮らしを議論
第5回 令和6年11月30日（土） 14時～16時	第5回：将来都市像に必要な取組の話をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回検討結果の共有 ・ 将来都市像と現在のギャップについて議論 ・ 理想と現実のギャップを埋めるために必要な取組・自分にできることを議論
第6回 令和6年12月21日（土） 14時～16時	第6回：発表会：将来都市像を語ろう <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来のキャッチコピー、そこでの暮らし、そこに至る過程の検討結果をグループごとに発表し全体共有と意見交換を実施

※会場は全回共通で郡山市役所2階正庁を予定しています。

本日のタイムスケジュール

- 本日のタイムスケジュールは以下のとおりです。

時間	内容
14:00～14:10 (10分)	<ul style="list-style-type: none">• 前回検討結果の共有• ワークショップの進め方、注意事項の説明
14:10～14:40 (30分)	<ul style="list-style-type: none">• 第1ラウンド ワークショップ：将来都市像と現在のギャップについて議論
14:40～14:55 (15分)	<ul style="list-style-type: none">• 議論状況の共有
14:55～15:55 (60分)	<ul style="list-style-type: none">• 第2ラウンド ワークショップ：理想と現実のギャップを埋めるために必要な取組・自分にできることを議論
15:55～16:00 (5分)	<ul style="list-style-type: none">• 第6回に向けて
16:00～	<ul style="list-style-type: none">• 閉会挨拶、事務連絡等

- 本日のワークショップに入る前に、前回の検討結果を共有します。

(ワークの結果は別紙に整理しています)

- 各グループでどのような検討がされたのか振り返ってから、本日の検討に入りましょう。

ワークショップの進め方

- 第2回からは2ラウンド制とします。
- 本日は、第1ラウンドの話合い終了後、話し合った内容を共有する時間を持ちます。
- 第2ラウンドの検討結果は第6回のお楽しみとします。

第1ラウンド:テーマについて話し合う



第1ラウンドの共有



第2ラウンド:テーマについて話し合う

ワークショップの進め方：役割

- 意見共有の時間では、ホストと旅人で役割が異なります。

【ホスト】

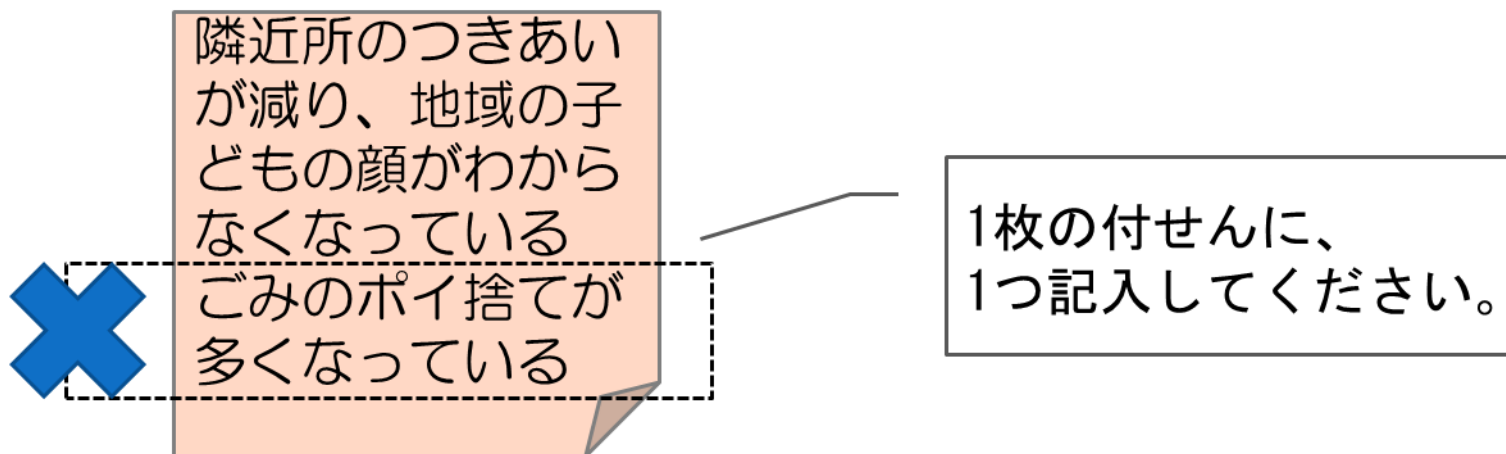
グループに残り、
第1ラウンドで話し
合ったことを旅人に
伝える

【旅人】

他のグループに
移動し、ホストの発表
を聞く

ワークショップの基本ルール

- 意見は **1枚の付せん** に1つ記入してください。
- 他の人が読みやすいように、**マジックを使ってできるだけ見やすく大きい字**で書いてください。
- 分からないことがあれば各グループのファシリテーターに気軽に聞いてください。



ワークショップの基本ルール

- 参加者の活発な議論を促し、より実りの多いワークショップとするための基本ルールを以下のように定めます。
- 楽しく、わいわいと意見を出し合うためにご協力をお願いします。

①参加者の意見に耳を傾ける

②参加者の意見は否定しない

③自分の主張・発言を押し付けない

ワークショップ：流れ

- 本日のテーマは「**将来都市像に必要な取組の話**をしよう！」です。
- 第1ラウンドでは将来都市像と現在のギャップを、第2ラウンドではギャップを埋めるために必要な取組を考えます。

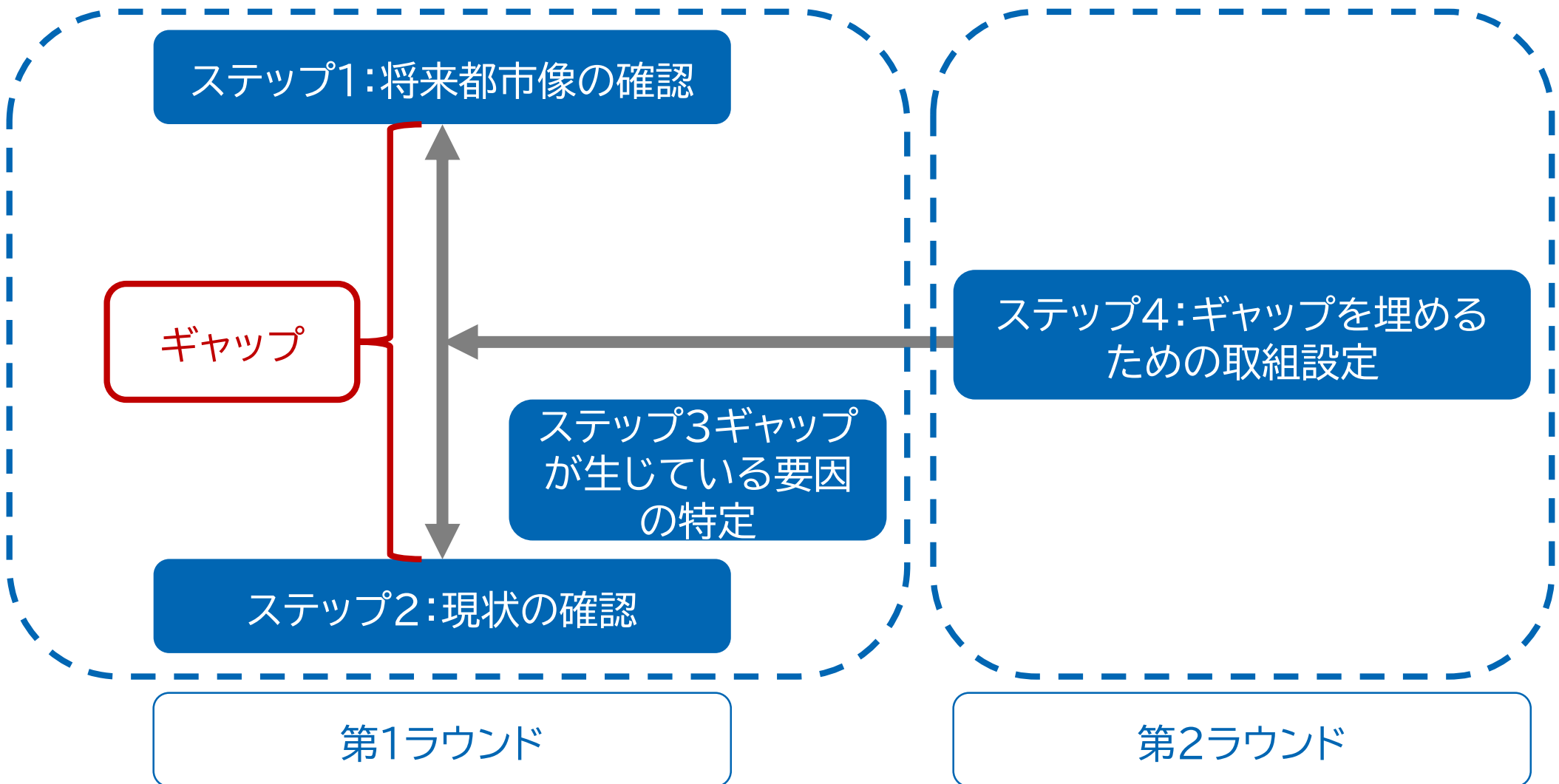
第1ラウンド：将来都市像と現在のギャップを考えよう

第1ラウンドの共有

第2ラウンド：ギャップを埋めるために必要な
取組を考えよう

ワークショップ：ギャップ・取組の考え方

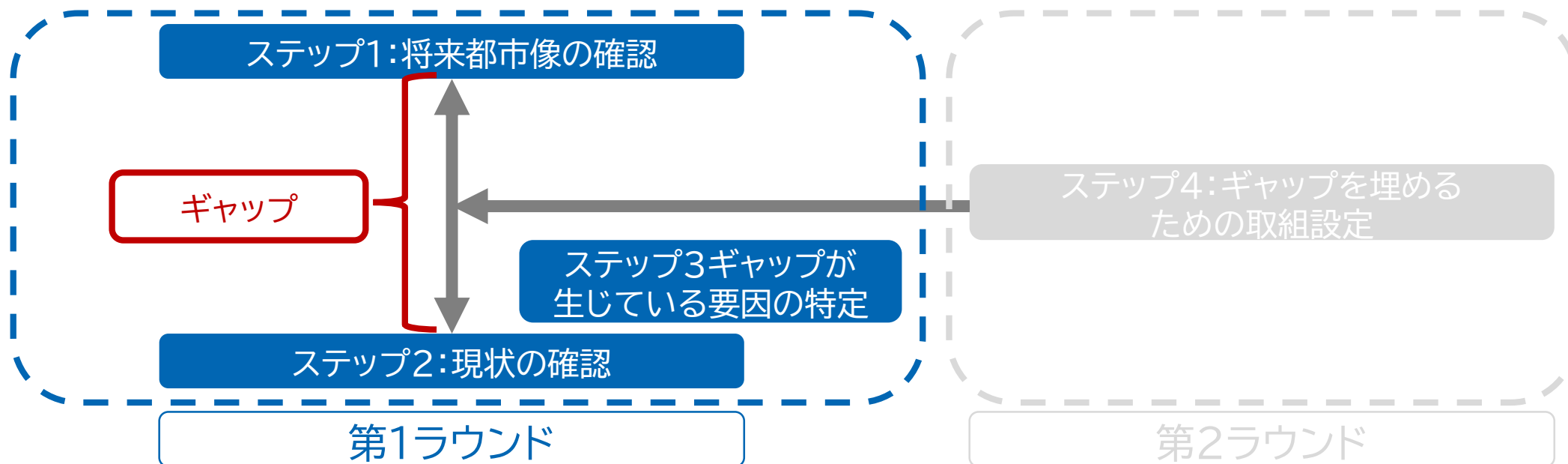
- 時間もお金も限られている中でやみくもに取組を実施していいわけではありません。
- 将来都市像と現状の間に「**どのようなギャップが生じているのか？**」、「**なぜギャップが生じているのか？**」を踏まえた上で、**ギャップを埋めるための取組を考えることが重要です。**



第1ラウンド：ワークショップ

- 第1ラウンドでは第1回で検討した郡山の魅力や不安、第3回で検討した将来都市像、第4回で検討したペルソナの暮らしを基に将来都市像と現在のギャップを考えます。

第1ラウンド 将来都市像と現在のギャップを考えよう！



第1ラウンド：ギャップを考えるに当たっての流れ

- 以下のステップ1～3に沿って、将来都市像と現在のギャップ及びギャップが生じている要因を考えます。

ステップ1 将来都市像を 確認する

ステップ3の要因とステップ4の取組をより具体的に考えるため、第3・4回の検討結果を参考に、**将来都市像の構成要素を考え、テーマを3つ**決めます。

例) Bグループ『すんだらいいばい 食ったらいいばい 楽しんだらいいばい』より、
すむ : 市内在住者も市外からの観光客も安らぎを感じる
食べる : 市外から来た人と元々市内に住む人が食を通して交流する
楽しむ : 郡山が音楽のまちとして日本中に認知され、街中で老若男女が音楽を楽しむ など

ステップ2 現状を確認する

ステップ1で検討した将来都市像に対し、第1回で検討した**郡山の魅力・不安も踏まえ、現状を確認**します。

例) 四季を感じられる場所が多い、くつろげるカフェが少ない
国際交流員による料理教室開催、料理教室に参加する人が少ない
市内の学校が日本一、楽都としての認知度が低い、音楽イベントは市内一部の地域に限られる など

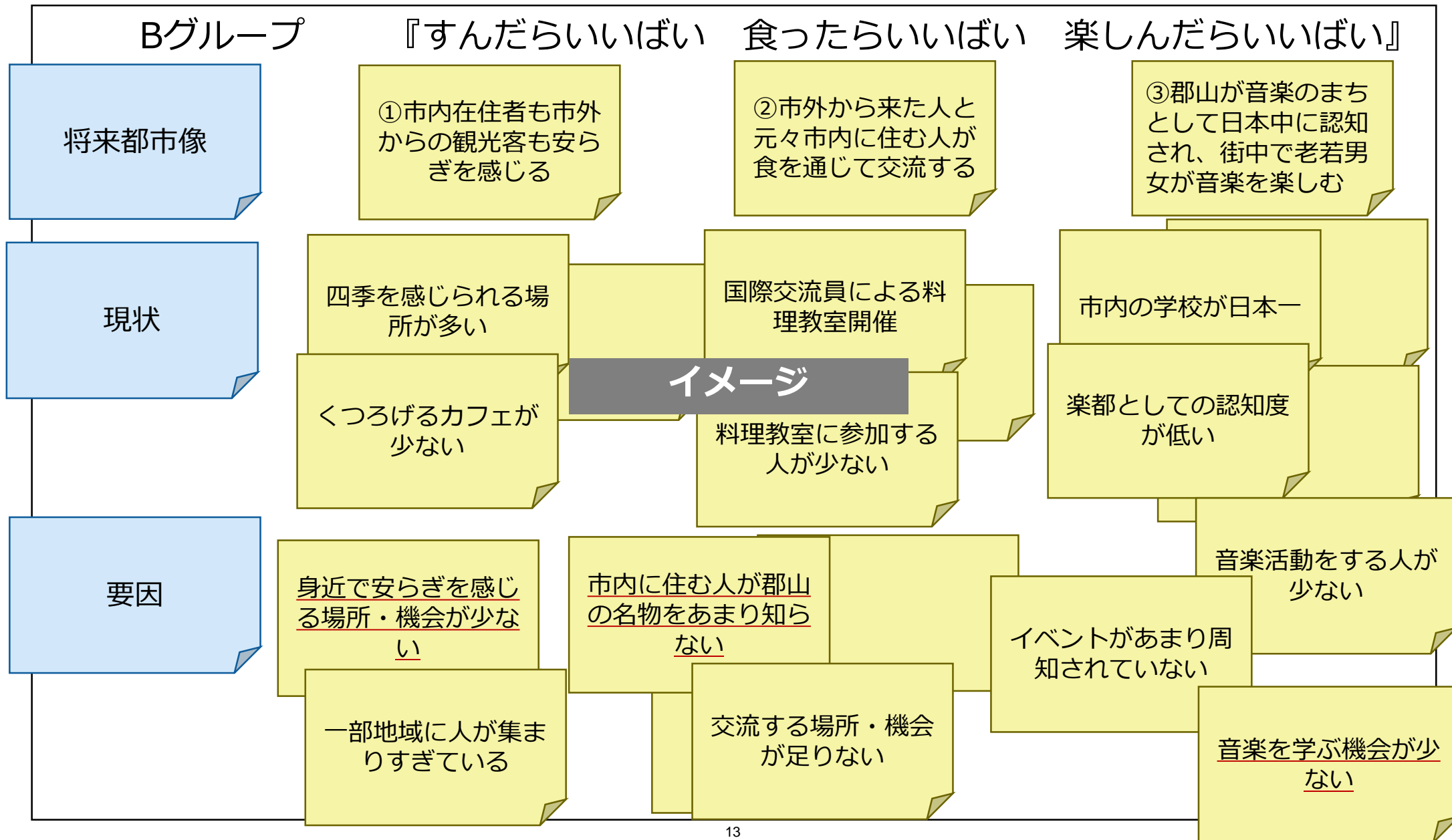
ステップ3 ギャップが生じている 要因を考える

現状が将来都市像になっていない要因を考えます。
要因の中で**最も大きな要因（主要因）を将来都市像のテーマごとに1つ(計3つ)選択**します。

例) 身近で安らぎを感じる場所が少ない、一部地域に人が集まりすぎている
市内に住む人が郡山の名物をあまり知らない、交流する場所が足りない
イベントがあまり周知されていない、音楽活動をする人が少ない、音楽を学ぶ機会が少ない

第1ラウンド：模造紙のとりまとめイメージ

- 以下は模造紙のとりまとめイメージです。
将来都市像ごとに主要因を1つ（計3つ）決め、**赤色で下線**を引きましょう。



第1ラウンドの意見共有

- ホストは1分半程度で第1ラウンドで話し合った内容を共有してください。その後、1分半程度で旅人は気になることがあればホストに質問をしてみてください。
- ベルが鳴ったら、旅人はまだ話を聞いていないグループに30秒で移動してください。

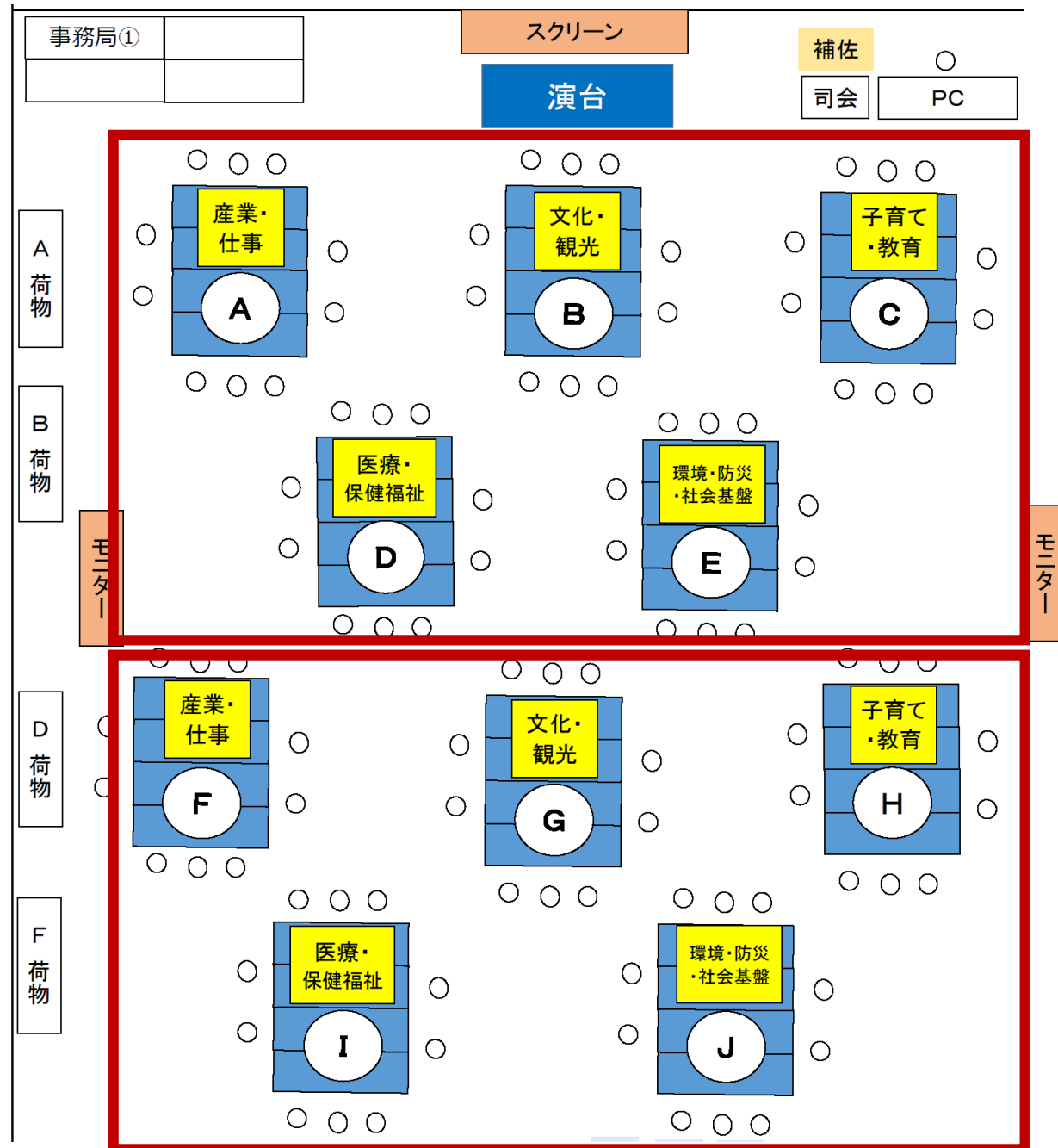
【ホスト】
グループに残り、
第1ラウンドで話し
合ったことを旅人に
伝える

【旅人】
他のグループに
移動し、ホストの発表
を聞く

第1ラウンドの意見共有：会場レイアウトと各グループのテーマ

- グループA～Eの方は、A～Eの中で移動してください。

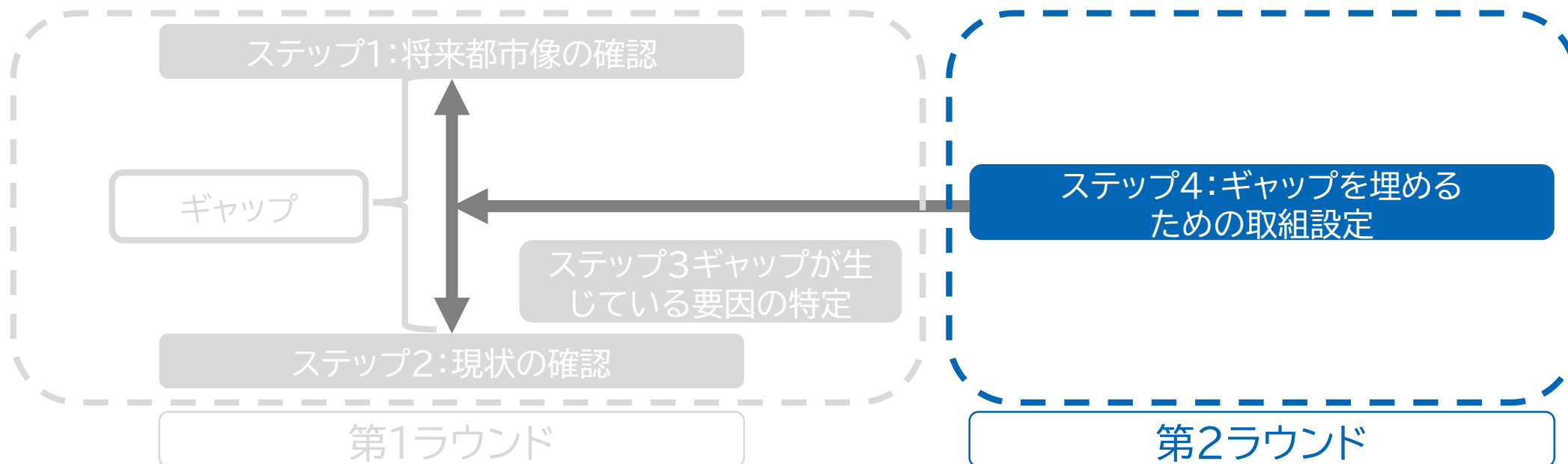
- グループF～Jの方は、F～Jの中で移動してください。



第2ラウンド：ワークショップ

- 第2ラウンドでは第1ラウンドで考えたギャップとギャップが生じている要因を踏まえ、**ギャップが生じている主要因を取り除くための取組**を考えます。

第2ラウンド ギャップを埋めるために必要な 取組を考えよう！



第2ラウンド：取組を考えるに当たっての流れ

- まちづくりは市民だけで、行政だけで、民間企業だけで行うものではありません。それぞれの役割を考え、協働に向けた取組検討が重要です。
- ギャップを埋めるため、**市民（自分）・行政・民間企業などの主体ごとに、何の取組を、誰に対して、どのように行うか**、を理由とともに考えます。
- **特に重要だと考える取組を3つ選択**します（取組同士を掛け合わせることも可）。

第1ラウンドで絞り込んだ3つの主要因を取り除くために必要な取組を、理由・目的、役割分担（市民・行政・民間企業など）、場所などの観点から考えます。

【主要因①（例）】
身近で安らぎを感じる場所・機会が少ない

【主要因②（例）】
市内に住む人が郡山の名物をあまり知らない

【主要因③（例）】
音楽を学ぶ機会が少ない

取組例)

- 取組：郡山の食材・名物を活用した市民による市民のための料理コンテスト
- 理由・目的：より多くの市民に郡山の食材・名物を認知してもらう
- 役割分担：市民がコンテストの審査委員、地元の農家が食材を提供、行政が場所を提供 など
- 場所：人が多く集まるような場所（例えば駅前や開成山公園など）

ステップ4 ギャップを埋めるための取組を考える

- 最後に、**自分が明日からまちづくりのためにやっていきたいこと・できること**をそれぞれ付箋に書き、模造紙に貼りましょう！

第2ラウンド：模造紙の取りまとめイメージ

- 以下は模造紙のとりまとめイメージです。
第1ラウンドで決めた3つの主要因に対する取組を考えます。
- 最後に、明日から自分で取り組んでみたいことをそれぞれ付箋に書きます。

Bグループ 『すんだらいいばい 食ったらいいばい 楽しんだらいいばい』

主要因

身近で安らぎを感じる場所が少ない

市内に住む人が郡山の名物をあまり知らない

音楽を学ぶ機会が少ない

取組

郡山の食材・名物を活用した料理コンテ

地元の農家：食材の提供

イメージ

場所：人が多く集まる駅前、開成山公園など

市民：企画、審査委員、市外へプロモーション

行政：場所の提供、許可

明日から自分でできる取組

第6回に向けて

- 次回の未来戦略会議は【令和6年12月21日（土）14時～16時】を予定しています。
- これまでの検討結果をイラストで1枚に整理し、アルファベット順で各グループ5分の発表会を実施します。
- 各グループで発表者を1名決めてください。
- なお、発表資料は事前に皆様にお送りし、第6回当日は、希望者が事前に発表練習を行えるよう、13時半より開場予定です。
- また、発表会開始前に10分程度、各グループでイラストの整理結果をファシリより共有予定です。

- 次回の未来戦略会議は
【令和6年12月21日（土）14時～16時】を予定しています。
次回もお待ちしています！